

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部	
	17030	森林環境創造事業		課名	産業振興課 森林林業G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	08:自然との共生			款	06:農林水産業費
	施策の方向	02:森林・里山・農地の保全			項	01:農林水産業費
戦略プロジェクト	-		目		06:林業振興費	
事業予定期間	H 14 ~ R 13 年度	主な根拠法令要綱等	三重の森林づくり条例、森林環境創造事業実施要領			

目的・概要	対象	認定林業事業体、森林所有者
	目的	森林所有者から管理委託された環境林に位置付けられた森林を、次世代を含めた市民がその恩恵を享受する公共財として位置付け、森林の持つ公益的機能(水源かん養、土砂災害防止、二酸化炭素吸収による地球温暖化防止等)の持続的かつ高度な発揮を目指す。
概要	概要	森林の持つ公益的機能の持続的かつ高度な発揮を目指し、認定林業事業体が森林所有者から20年間の管理委託を受けた環境林に位置付けられた約800haの森林を、間伐により針広混交林(針葉樹・広葉樹が混交した多様な森林)へ誘導する。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	森林環境創造事業(交付金) ・伐捨間伐 50ha 森林環境創造事業(県単) ・伐捨間伐 2ha 森林環境創造事業(市単) ・伐捨間伐 38ha 環境林新規認定 3ha	森林環境創造事業(交付金) ・伐捨間伐 50ha 森林環境創造事業(県単) ・伐捨間伐 2ha 森林環境創造事業(市単) ・伐捨間伐 38ha 環境林新規認定 3ha	森林環境創造事業(交付金) ・伐捨間伐 50ha 森林環境創造事業(県単) ・伐捨間伐 2ha 森林環境創造事業(市単) ・伐捨間伐 38ha 環境林新規認定 3ha	
	年度実績	森林環境創造事業(交付金)業務委託 切捨間伐 77.42ha 森林環境創造事業(市単)業務委託 ・切捨間伐 2.58ha	森林環境創造事業(交付金)業務委託 伐捨間伐 47.15ha 森林環境創造事業(市単) 切捨間伐 2.68ha		
事業の計画・実績	計画額	事業費	18,000千円	18,000千円	18,000千円
		国庫支出金	5,000千円	5,000千円	5,000千円
		県支出金	4,240千円	4,240千円	4,240千円
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	17,231千円	17,279千円	
		国庫支出金	8,000千円	8,001千円	
		県支出金	1,240千円	2,066千円	
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費	16,997千円	17,180千円	
		国庫支出金	8,000千円	8,001千円	
		県支出金	1,075千円	2,066千円	
		地方債			
		その他			
人件費	一般財源	7,922千円	7,113千円	0千円	
	総人件費	2,355千円	2,352千円	0千円	
	一般職員	2,355千円	2,352千円	0千円	
	所要人員	0.30	0.30		
		会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円
総コスト(+)		19,352千円	19,532千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	環境林整備面積 単年度の環境林間伐面積	活動	計画値	90	90
				実績値	80	50
				単位	ha	ha
	名称	環境林整備計画認定面積 単年度の環境林整備計画認定面積	成果	計画値	3	3
				実績値	0	0
				単位	ha	ha
名称			計画値			
			実績値			
			単位			

事業の改善	前回評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>国・県に対し森林環境創造事業実施のための予算要望を行い、交付金等を活用するとともに、市単独で森林環境創造事業を実施することで事業量確保に努める。 環境林整備計画の新規認定面積拡大に向けて取り組む。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>国・県からの交付金等を活用した事業を実施するとともに、市費による事業を実施した。 認定林業事業体とともに環境林整備計画の新規認定ための活動を行った。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>国・県の交付金等を活用した森林環境創造事業に加え、令和元年度に引き続き、市単独の森林環境創造事業を実施した。 環境林整備計画新規認定面積拡大のため、森林所有者への働きかけを行った。</p>	<p>B</p> <p>まずまず実施できた</p>
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>国・県の交付金等を活用した森林環境創造事業に加え、市単独での森林環境創造事業を実施し、49.83haの環境林整備を実施することができ、森林の持つ公益的機能の維持・発揮に寄与することができた。 環境林整備計画の新規認定については、面積拡大のため森林所有者に働きかけを行ったが、新規認定面積の拡大には至らなかった。</p>	<p>B</p> <p>まずまず成果を得た</p>

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>環境林整備計画の新規認定は令和3年度末までとなり、三重県の森林環境創造事業費補助金も令和13年度までとなっている。国・県の交付金等も年々減少しており財源確保が課題となっている。森林環境創造事業への森林環境譲与税の活用を検討など財源確保に努め、残りの事業量の把握と計画的な事業推進を図る必要がある。</p>	<p>今後の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 拡大</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>間伐特別措置法の措置期限は、令和2年度末に期限を迎える見込みであったが、10年延長されることとなった。同法に基づき、特定間伐等促進計画を作成し、認定されることで国交付金(美しい森林づくり基盤整備交付金)を受けられることから、いまままで国から交付金が受けられるよう計画認定に取り組み財源確保に努める。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>認定林業事業体の事業量が確保されるとともに、森林の持つ水源かん養、土砂災害防止機能などの公益的機能の向上が期待できる。</p>	
対応時期		令和3年	

【1次評価者】	産業建設部 産業振興課 森林林業グループリーダー 葛西 裕二
【最終評価者】	産業建設部 産業振興課長 富田 真左哉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B	B	
	成果	B	B	B	B	

		令和2年度予算額(事業費)の内訳
内訳	予算額(事業費)	17,279 千円
	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	17,279 千円
	令和3年度への繰越額	千円